

カキ生育情報

千葉県
平成19年10月号

【9月の気象】

平均気温は、平年に比べ第2、第4、第5半旬が低く第1、第3、第6半旬で高く推移した。月平均気温は23.4で平年並みであった。

降水量は、平年に比べ第4、第5半旬が0mmで第1から第3半旬は平年よりも多く、特に第2半旬は台風9号の影響で124mmであった。月合計降水量は287mmで平年よりも37mm多かった。

日照時間は、第1から第3、第6半旬が平年より少なかった。残りの半旬は平年よりも多く推移したが、月合計日照時間は平年より9時間少なかった。

表1 平成19年9月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温()		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月	1	24.0	25.0	34	27	19	31
	2	25.0	24.5	124	46	23	28
	3	23.2	23.8	70	29	16	25
	4	24.8	22.7	0	38	38	22
	5	24.1	21.6	0	47	30	20
	6	20.1	20.5	60	64	12	20
合計/平均		23.4	23.0	287	250	137	146

【樹及び果実の生育】

暖地園芸研究所では、西村早生の収穫は9月14日に始まった。平年より3日早かった。収穫盛期、終期とも平年よりやや早まりそうである。果実の縦・横径は平年よりも0.5cm大きく、昨年と比べて1.1cm大きかった。収穫果ではM、L級の果実が多く、昨年よりも収穫量は多くなりそうである。カキノヘタムシガの幼虫による被害が目立った。

松本早生富有は9月下旬に着色が始まった。果実の縦径・横径はほぼ平年並であったため、収穫時期も平年並になると予想される。

富有は10月上旬の時点では着色は始まっていない。果実の縦・横径平年並であったため、収穫果は平年並になると予想される。

いすみ市の西村早生の果実横径の肥大は昨年に比べて遅れていた。市原市の松本早生富有の果実肥大は、台風9号のために落葉が多く、昨年に比べて生育が遅れていた。

表2 果実の発育（平成19年9月30日）

品種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果径指数		
		本年	昨年	平年 ¹⁾	本年	5.1	平年	本年	昨年	平年
西村早生 ²⁾	いすみ市	7.4	7.7	-	5.5	5.1	-	1.35	1.51	-
	暖地園研	8.2	7.1	7.7	5.7	4.9	5.5	1.45	1.39	1.40
松本早生富有	市原市	6.5	7.2	-	4.5	5.3	-	1.44	1.47	-
	暖地園研	6.7	7.0	6.8	5.4	5.2	5.4	1.30	1.32	1.27
	暖地園研	6.8	6.6	6.7	5.4	5.5	5.1	1.27	1.27	1.30

注1) 暖地園芸研究所における平成2年から16年間の平均値

2) いすみ市及び暖地園芸研究所における西村早生のデータは9月に収穫した果実データを含む

【10～11月の作業の要点】

収 穫

中生、晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認しておく。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調整作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。松本早生富有、次郎、富有などの中晩生品種では、10月中下旬までに速効性肥料で施用する。窒素の成分で、2～3kg/10aが適当である。

病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降（休眠期）でよい。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農業総合研究センター暖地園芸研究所果樹研究室

TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>